

広報

えびの

1 2013
January
vol.555



今月の掲載記事

年頭のあいさつ
あなたは今安全運転してますか
大人への新たな1歩
CIVIC NEWS
まちのわだい
えびの気質「小倉真里子さん」
うまかもん「ピーマンと春雨のスープ」

年頭のあいさつ



えびの市長
村岡隆明
Muraoaka Takuaki

新年、明けましておめでとうございます。
皆様におかれましては、明るい希望に満ちた平成25年の新春をお迎えのことと存じ、心からお慶びを申し上げます。

昨年は、10月に長崎県佐世保市で開催された第10回全国和牛能力共進会において、えびのの出品者の宮崎牛が内閣総理大臣賞を受賞し、日本一の栄冠に輝き、当市に明るい話題と元気をいただきました。まさに、2012年の有終の美を飾ることができたと思っています。今年は、この結果を宮崎牛のブランド力の強化、農家の所得向上はもとより、まち全体の活性化につなげてまいりたいと考えております。

さて、当市では、昨年3月に第5次えびの市総合計画を策定し、『大自然と人々が融合し、「新たな力」が躍動するまちえびの』をスローガンに『南九州の交流拠点都市』を目指しております。この新たな力とは、まさに私たち住民がこれから新たに生み出していく力のことです。市民・行政・民間が一致団結し、協働のまちづくりを推進することで新たな力が生まれてきます。

今春オープン予定の「道の駅えびの」や地域運営協議会の推進、地域おこし協力隊の雇用、市内循環バスの導入も全て、新たな力を誘発するための手段として活用していただきたいと思えます。市民の皆様には、ぜひ、積極的にこれまで以上に市政へ参画していただき、多くの新たな力を躍動させていただきますようお願い申し上げます。

行政といたしましても、これまでの枠を跳び越えて、地域活性化の政策を推進し、皆さんと一緒に汗をかくていくことをお誓い申し上げます。「私たちのまちは、私たちがつくってまいりましょう！」

結びに、本年も市政運営にこれまでどおり変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。今年が皆様にとりまして健やかで、穏やかな、そして、平和な年でありますようお祈りいたしまして年頭の挨拶といたします。

あなたは今 安全運転してますか

昨年11月、加久藤橋で、児童3人が巻き込まれる痛ましい事故が発生しました。交通事故は、いっどこで発生するかわかりません。私たちは、加害者にも被害者にもなりません。交通事故を未然に防ぐにはどうすればいいのか、改めて交通安全について考えてみましょう。

通学路では特に安全運転を

えびの市で、下校途中の児童3人が巻き込まれる痛ましい事故が発生しました。二度とこのような事故を発生させようではありません。

小中学校付近の通学路には、道路幅の狭い場所が数多くあります。ドライバーの皆さん、通学路の安全確保と児童生徒が被害者となる痛ましい交通事故を防ぐためにも、小中学校付近の通学路は、

- 補助標識（スクールゾーン）に注意を払い、規制の有無と時間を確認する
- 通学路を抜け道、近道として通行しない
- 児童生徒を見たら安全走行などを心がけ、心と時間に余裕をもつ

て車の運転をお願いします。

えびの市では、学校、警察など関係機関と連携し、小中学校における通学路の緊急点検を行い、情報の共有化を図り、児童生徒の安全確保に努めています。しかし、一部幹線道路を除き、えびの市の道路のほとんどに歩道と車道の境界のブロックや段差がありません。カーブや木陰、建物などにより見通しの悪い場所も無数にあります。

子どもや高齢者は、飛び出しや車の直前の横断など、予測の付かない動きをすることもあります。通学路ばかりでなく、いつでも止まれるスピードで安全運転をお願いします。

多い高齢者の交通事故

平成24年11月末現在のえびの市内で

【年別市内交通事故の推移】

年	19	20	21	22	23
件数	99	79	111	134	124
負傷者	125	106	128	156	158
死者	4	1	0	0	0

【市内交通事故の特徴】（平成24年11月末現在）

○発生時間帯

時間帯	7時～9時	9時～11時	14時～16時	16時～18時
件数	17件	20件	14件	17件

○路線別

路線	国道	市道	県道
件数	44件	31件	19件

○道路形状別

形状	直線	交差点
件数	45件	42件

※交差点は、交差点付近を含む。

○類型別

類型	追突	出合頭
件数	25件	19件

※車両単独事故の割合が高い。

○原因別

原因	安全不確認等	バンドル操作不適
件数	73件	12件

○年代別

年代	高齢者	50歳代	40歳代
件数	47件	20件	11件

運転は緊張感や責任を持って

が低下するほど高くなっていくことが、さまざまな調査で明らかになっています。そろそろ危なくなってきたと感じつつも「あともう少しだけ」とハンドルを握り続け、事故を起こしてしまった人、認知症になっても運転をやめようとならない人、高速道路を逆走し、自ら命を落としてしまった人など、高齢ドライバーによる事故は全国的にも多く発生しています。

交通事故は、被害者はもちろん、ドライバー自身や家族をも不幸に陥れます。「危ないな」と感じたら、運転をやめる勇氣、運転をやめさせる周囲の家族の決断が求められています。

子どもの交通事故を防ぐためには、子どもに道路にはさまざまな危険があることを理解させ、「道路に急に飛び出さない」、「横断歩道や信号のある場所で道路を横断する」、「赤信号のときには渡らない」、「信号が青になったら、左右をよく見て、車が来ないことを確かめて渡る」、「道路や車のそばでは、絶対に遊ばない」など交通ルールをきちんと身につけさせることが重要です。

ドライバーは、「てげてげ運転」をしないように心がけてください。宮崎県の交通事故の原因をしてみると、運転中の緊張感の欠如とみられる脇見、考え事、安全不確認などによるものが大半を占めています。そこで宮崎県警では、「てげてげ運転追放運動」を実施しています。「てげてげ運転追放運動」とは、運転中の読書、化粧、ひげそり、考え事などをやめ、緊張感をもって運転し、交通事故防止を図る運動です。運転中の携帯電話はもちろんダメです。交通事故は、決して他人事ではありません。事故の多くは、過去に違反も事故もない人が起こしているのが

実情です。運転するときは、緊張感や責任を持ってください。

もし、事故を起こしてしまった場合は、必ず110番に連絡してください。それに違反すると、「ひき逃げ」や「当て逃げ」に該当し、罪が重くなる場合があります。連絡することは、法で決められている運転手の義務です。

最近、駐車場での事故が多発しています。バック走行していて、子どもをひいてしまったという事故も起きています。

えびの警察署では、発車時のバック中の事故を防ぐため「エビのバック駐車運動」を行っています。駐車の際は周囲の状況に十分気を配り、前向き駐車にご協力ください。



えびの警察署 警部補 杉尾 彰司さん

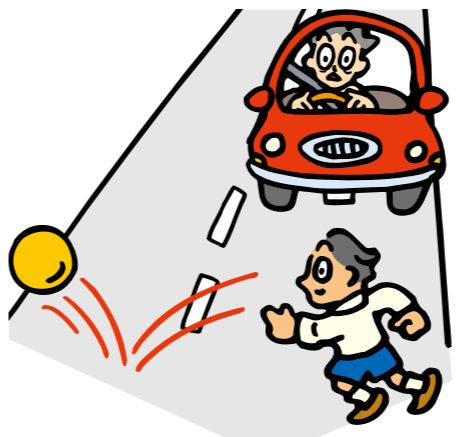


ドライバーの皆さん 子どもや高齢者に優しい運転を

道路を通行するのは、自動車だけではありません。子どもからお年寄りまでさまざまな年代の歩行者や自転車、バイクなども同じ道路を利用します。道路では、頑丈な車体もち、スピードも出る自動車は一番強い存在です。

自動車が他の道路利用者とぶつかった場合には、事故の原因が相手にあったとしても、相手に大ケガをさせる危険性があります。ドライバーの皆さんは、そうしたことを念頭において、道路では細心の注意を払うことが重要です。

歩行者や自転車利用者の中には、横断が禁止されているところで道路



を横断したり、信号を無視したりするなど、ルールを守らない人もいます。

住宅街や学校、公園、公共施設の近くなどでは、子どもや自転車が急に道路に飛び出したり、子どもが路上で遊んでいたりとすることがあります。住宅街ではスピードを落とし、歩行者や自転車に十分注意しましょう。

交通死亡事故は夕方から夜間に多く発生しています。暗くなってきたら早めにライトを点灯し、安全運転を心がけましょう。

【家の近くだからこそ慎重に】

事故は慣れない道ばかりで起きていくものではありません。

それほど大きな事故でなくても、電柱に車体をこすったり、緑石に乗り上げたりといった事故はドライバーの自宅付近で結構発生しています。

これは、「ここはいつも車が少ない」などといった慣れから生じているものです。よく知っている、いつも通る道だからこそ、よく注意して慎重に運転をするように心がけましょう。

子どもたちに身につけさせよう 交通ルールとマナー

子どもの交通事故は、歩行中、自転車乗用中に多く発生しています。その原因は、道路への急な飛び出しや、駐車・走行車両の直前・直後の横断、信号無視、自転車乗用中の安全確認や一時停止の怠りなどです。子どもの歩行中の交通事故の半数以上は、本人の交通ルール違反が原因で起こっています。

子どもの交通事故を防ぐためには、子どもに道路にはさまざまな危険があることを理解させ、交通ルールをきちんと身につけさせることが重要です。子どもと一緒に、自宅周辺の道路を歩き、どのようなところが危険なのか、なぜ危険なのかを確認し、



そのような場所ではどのようなことに注意したらよいかを、話し合ってみましょう。

また、次のような交通安全の基本ルールを教え、身につけさせることも大切です。まずは大人が交通ルール・マナーを守る姿勢を見せ、子どものお手本になりましょう。

●子どもとの約束 交通安全ルール

- 道路に急に飛び出さない
- 道路を横断するときは、横断歩道や信号のある場所で
- 信号が赤のときには渡らない
- 信号が青になったら、左右をよく見て、車が来ないことを確かめて渡る
- 道路や車のそばでは、絶対に遊ばない

自転車は車両の一部 正しく安全な利用を

近年、自転車の交通事故の割合も増えていきます。自転車乗用中の交通事故は、3分の2が自転車に乗る側の交通ルール違反によって起こっています。15歳以下の子どもでは違反のある者の割合が4分の3と、特に高くなっています。

自転車の交通ルール違反で特に多いのは、一時不停止や安全不確認です。一時停止の標識がある交差点では自転車も一時停止をしなければなりません。一時停止や安全確認をせずに急に飛び出したり、急に曲がったりして事故が発生しています。また、左側通行を守らずに右側を逆走する、携帯電話を使いながら運転す



る、二人乗りや無灯火で運転したりすることなどが事故のリスクを高めます。自転車が関連する交通事故では、自転車が加害者となって歩行者にけがをさせるケースも少なくありません。

自転車はだれでも気軽に利用できる身近な乗り物ですが、道路交通法では「軽車両」として位置づけられ、自動車やバイクと同じようなルールが定められています。違反した場合には、罰金も科せられます。また、自転車で交通事故を起こすと自動車の場合と同様に「刑事責任」と「民事責任」を問われることとなります。交通事故を防ぎ、自転車を安全に利用するために、以下の自転車を利用する際の交通ルールとマナーをきちんと守りましょう。

- 自転車は車道が原則、歩道は例外
- 車道は左側を通行
- 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- 安全ルールを守る

- ・飲酒運転、二人乗り、並進の禁止
- ・夜間はライトを点灯
- ・交差点では信号遵守と一時停止・安全確認
- 子どもはヘルメットを着用

高齢者の皆さん 夜間、出歩く時は明るい服装で

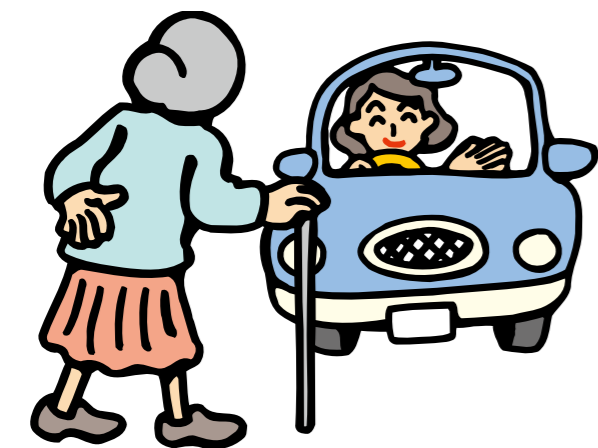
交通事故の発生件数や死者数は減ってきていますが、全体に占める高齢者の割合は年々増えています。

高齢者の交通事故で特に多いのは歩行中の事故です。高齢者の歩行中の事故は、夕方の暗くなり始めた時間帯に多く発生しています。この時間帯は、ドライバーから歩行者などが見えにくくなる時間帯です。歩行者が交差点や道路を横断するとき、「ドライバーから自分が見えるだろう」と思っている、ドライバーから見えにくく、事故に至ってしまうケースがあります。

夕方から夜間に出歩くときは、白っぽい服装をしたり、反射材をつけたりして、ドライバーの目につきやすい工夫をしましょう。

高齢者の歩行中の交通事故でも、3分の1が交通ルール違反によるものです。「信号無視はしない」、「横断歩道では青信号でも左右の確認をしてから横断する」など、高齢者の皆さんも、初心にかえって交通ルールを守りましょう。

最近では、高齢ドライバーの増加に伴って、高齢者が交通事故の加害者になるケースも増えてきています。



加齢とともに、体力や反射神経、判断力などは変化していくものです。安全な運転をするためにも、自分を過信せず、交通安全講習会、実技研修、運転適正検査などを定期的に受け、自分の運転能力の変化をチェックしましょう。

周囲のドライバーが高齢ドライバーに配慮することができるよう、70歳以上のドライバーには、「高齢運転者標識（高齢運転者マーク）」を付けることをお勧めします。

大人への新たな一歩

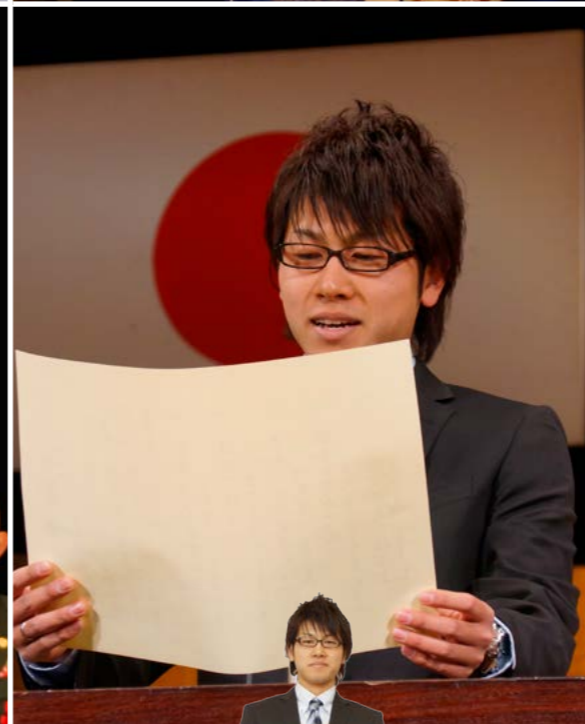
平成25年成人式が、1月5日、市文化センターで行われました。式には、はかまやスーツ、晴れ着姿に身を包んだ新成人220人（男126人、女94人）が参加しました。

オープニングでは、小倉里恵さんの電子オルガン演奏に合わせ、ふるさとであるえびの市の紹介と新成人の中学校時代の写真がスクリーンに流されました。会場では、懐かしい写真がスクリーンに映るたび歓声があがっていました。

式では、星指圭太さん（飯野中出身）が市民憲章を朗読。江平和幸さん（真幸中出身）が成人証書と記念品を受領しました。

式辞で村岡市長は「これからは、社会の一員として支える立場。新しい時代に責任を持てる社会人になってください。裏切られてもその人を信じることから始められる人にもなってほしい」と新成人にエールを送りました。

新成人代表として上原万里奈さん（飯野中出身）が「社会の一員として、大切な家族、地域などと関わり、人間関係をつくりながらえびの市の新たな力となるよう努力していきます。未熟な私たちですが、社会に支えられると同時に、社会をより良く変えていく社会人の生き方に希望を見出し、いきたいです」と意見発表しました。



安井幸子 さん
(加久藤中出身)

社会人として周りから頼られる存在になりたいです。いろいろなことにも挑戦したいです。(感謝と誓いの言葉)



池田哲也 さん
(上江中出身)

将来は、上江に帰ってきて、上江のため、えびの市のために何か貢献していきたいです。(感謝と誓いの言葉)



江平和幸 さん
(真幸中出身)

医療関係の学校に通っています。将来、医療の立場からえびの市に何か貢献していきたいです。(成人証書・記念品受領)



星指圭太 さん
(飯野中出身)

残り2年間の大学生活で多くのことを学び、学んだことが生かせる社会人になりたいです。(市民憲章朗読)



上原万里奈 さん
(飯野中出身)

職場では、笑顔での接客を心がけています。周りの人を笑顔にできる存在になりたいです。(新成人代表発表)

将来の夢・希望

・抱負などを聞きました

25

[平成25年成人式]

CIVIC NEWS

市政ニュース

企業立地協定を締結 えびのの新たな誘致企業

えびの市大字小田に自動車貨物運送業を営む有限会社扶桑物流(本社・広島県福山市・高田耕太郎代表取締役)の企業誘致が決定しました。
このほど、市役所で企業立地協定調印式が行われました。

同社は、平成13年に広島県福山市で創業以来、西日本を中心に安全性や環境に配慮した効率的な自動車貨物運送のシステムを構築しています。南九州地域での物流の強化を

図るため、えびの市に進出したいものです。
調印式で高田代表取締役は「顧客の強い要望、そして、宮崎、鹿児島どちらへ行くことも大変利便性が高いというところで、えびの市への進出を決めさせていただきました。新規雇用も予定しております。できるだけ地元の方を雇用できればと考えています」と話していました。

■市観光商工課

☎ 35-1111 (内線333)

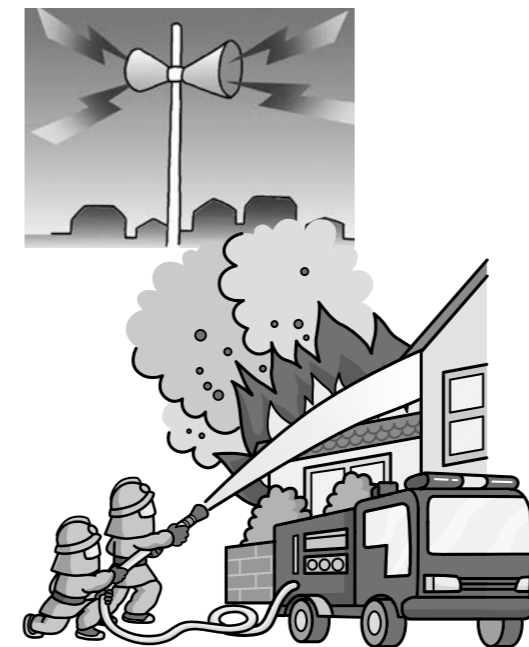


調印後、握手を交わす市長と高田代表取締役

火災発生時の緊急放送 鎮火の放送はありません

市防災行政無線では、市内で火災が発生した場合、火災発生場所と出動要請する消防団名(分団名)を放送していますが、鎮火情報の放送はしていません。

この放送は、西諸広域行政事務組合消防本部(小林市)の「高機能消防指令センター」から市防災行政無線を通じて行われるものです。放送する内容は、消防団の出動要請をする火災発生情報のみで、その他の火災や鎮火情報は放送していませんのでご理解をお願いいたします。
その他の火災や鎮火情報等を知りたい場合は、あらかじめ県防災メールに登録するか、西諸広域行政事務組合消防本部の火災問い合わせ番号☎ 23-7000(電話料有料)で確認ができます。
【県防災・防犯メール】
<https://www.fastalarm.jp/miyazaki/docs/>
■市総務課防災対策係
☎ 35-1111 (内線313)



鎮火時の放送はありません

宝くじ助成事業で自治公民館、グラウンドゴルフ道具一式を整備 地域社会の健全な発展を応援

財団法人自治総合センターの宝くじの助成を活用し、飯野駅前区の自治公民館が、また、市社会教育課にグラウンドゴルフ道具一式が整備されました。

飯野駅前区自治公民館の床面積は、101・98㎡で、集

会室、湯沸室などがあり、いす、テーブルなどの備品が整備されました。今後、地区の総会などに利用されます。
自治公民館は、建て替え総額の5分の3について宝くじの助成を受けました。残りは、飯野駅前区の負担です。

市社会教育課に整備されたグラウンドゴルフ道具一式は、スティック、ボール、ホール、テントなどで、地域でのグラウンドゴルフ大会等で利用できます。

道具等は文化センターで管理しています。利用される場合は、事前に市社会教育課(☎ 35-2268)までご連絡ください。



建て替えられた飯野駅前区自治公民館



整備されたグラウンドゴルフ道具一式



市内各地で竹はしらかし
一年の無病息災を願う

1月3日から7日にかけて、市内各地の田んぼや河川敷で「竹はしらかし」が行われました。

これは、子ども育成会や地域で組んだ竹のやぐらで門松やしめ縄などを燃やし、一年間の無病息災を願って毎年行われているものです。焼いた竹を家に飾っておくと、魔よけになると言われています。竹をつけたられたやぐらは、竹の弾ける音とともに燃え上がりました。参加者は、炎でもちを焼いて食べていました。



矢岳高原サンライズフェスタ
雲間から初日の出

1月1日、矢岳高原ベルトンオートキャンプ場で「矢岳高原サンライズフェスタ」が行われました。フェスタには、平成25年の初日の出を見ようと市内外から約100人が参加しました。

日の出時刻。雲の合間から、朝日が顔をのぞかせると、会場は参加者の歓声に包まれていました。

ある参加者は「少しでしたが、初日を見ることができて感動です。今年はいい年にしたいです」と話していました。

えびの駐屯地曹友会が車いすを寄贈 **地域との絆のために**



12月20日、えびの駐屯地曹友会の2人がえびの福祉作業所を訪問。車いすを寄贈しました。

この会は、えびの駐屯地内の隊員で構成され、業務日以外に、主に市内でボランティア活動などを行っています。

この寄贈は、同会がバザーを行い、その収益でえびの市に何かできないかと行われたものです。

寄贈にあたり同会の金次会長は、「これからも地域との絆を大事に、地域に貢献していきたい」と話していました。

1月6日、湯田橋下流河川敷で平成25年えびの市消防出初式が行われました。式には、消防団員や消防署職員など約400人が参加しました。

式では、市長の訓示や機械器具の点検、消防活動に精励した消防



平成25年度消防出初式

趣向を凝らした一斉放水

団員の表彰が行われました。

一斉放水では、まず、各分団ごとの趣向を凝らした放水が行われました。その後、全分団の一斉放水が行われ、湯田橋や河川敷に集まった多くの見物客を楽しませていました。



変装でえびのをPR
サンタの姿で練り歩き

12月23日、グリーンパークえびのから市文化センターまでを練り歩く「サンタで遠足」が行われました。このイベントには、約30人が参加。参加者は、サンタクロースの衣装に身を包み、沿道を走る車などに手を振りながら練り歩きました。

このイベントは、えびの市のPRを兼ね、普段見慣れない光景をいろいろな人に見て楽しんでもらおうと、若者プロジェクトMAIKA主催で行われました。



ジルバー人材センターがしめ縄を寄贈
手づくりのしめ縄で新年を

12月25日、社団法人シルバー人材センターの会員が市役所など10か所にしめ縄を贈りました。

これは、手づくりのしめ縄で気持ち良く新年を迎えてもらおうと贈られたものです。

しめ縄は、同センターの会員の徳留秀正さんと田中敏治さんの2人による手づくりです。

寄贈を受け市長は「手づくりのしめ縄で気持ち良く新年を迎えることができます」と話していました。



えびのの気質

第九を歌う会 小倉真里子さん

歌でえびのを元気にしたい

「第九で広がる輪をえびの市全体に広げていきたいですね」と話すのは、昨年12月にえびの市で2回目となる「第九でえびのを元気に！」公演を成功させた小倉真里子さん（中島区）です。

第九とは、ベートーベンの交響曲第9番の日本での愛称です。第4楽章は独唱と合唱を伴って演奏され、第4楽章の主題は『歓喜の歌』としても親しまれています。

市内でピアノ教室を営む小倉さん。「第九は、聞いても歌っても元氣の出でくる歌。この第九と音楽でえびのを元氣できないかと、かねてから考えていました」

第九の公演に向けて

えびの市での第九の公演を決意したのは3年前の2月のこと「娘と一緒に宮城県石巻市に第九の公演を見に行きました。市民250人のコーラスとオーケストラの演奏、それと観客との一体感に感激しました。公演後、娘と涙が止まらなかつたのを覚えています。その感動をえびのにも届けたいと思いました」

そんな時、目にしたのが市の広報紙の「市民提案運営型自主文化事業を活用してみませんか」という記事でした。「これはチャンスと思い、すぐさま社会教育課に電話をかけまし

た。平成23年9月には、市民が参加する『第九を歌う会』を発足することができました。会は立ち上げたものの、最初は運営の方法がわからず悩んだそうです。「熊本県民第九の会に入りました。そこで、運営の方法などを学びました」

平成23年12月18日に行われた第1回公演は成功の内に終わりました。

第2回の公演に向け、えびの市民で構成する合唱団110人は、9月上旬から週2回のパート練習や全体練習を重ね、平成24年12月16日の本番に挑みました。「全体練習では、な



第九でえびのを元気にしたい

かなかうまくいきませんでした。本番はどうかと心配でした。公演が始まるとみんなの呼吸はバッチリ。今までにないでできた公演後、『すごく感動した』『参加してよかった』と言葉をかけてもらえました」

第2回の公演には第1回目にはない新たな演出を加えました。「第九のソリスト（独唱）や演奏には、全国各地で活躍中のプロを招きました。えびの風にアレンジした『オペラ、カルメン』を上演前に披露しました。オペラを見る機会はめったにないと思います。こういった機会にぜひ、見てもらいたいですね」

より充実した公演を目指して

飲み会などでは、カラオケで声のいい人に第九に参加してみませんかと声をかけています。「聞くのもいいですが、コーラスとして参加してみるのが楽しいですよ。歌うことで心と体が元氣になります」

現在、第3回の公演に向けて準備を進めています。「2回目よりも3回目というようにプレッシャーはありますが、市民や参加者が増え、もっと楽しくなるような公演を目指してがんばっていききたいです」



Profile
おぐら・まりこ / 中島区 / 趣味：ダンス（子どもたちと踊るビップホップダンスにはまっています）



うまかまん

今 月紹介するのは、ふるさと料理教室の皆さんが作った「ピーマンと春雨のスープ」です。

ピーマンはビタミン豊富な野菜です。加熱に弱いビタミンCですが、ピーマンに含まれているビタミンCは熱にも強く、ゆでたりいためたりしても十分ビタミンCが取れます。

ピーマンと春雨のスープは、ピーマンのシャキシャキとした食感と春雨のツルツルとした食感が絶妙です。季節の野菜などをお好みで入れることで、不足しがちな野菜をたくさん取ることができます。ピーマンのシャキシャキとした食感を残すため、煮過ぎないように注意しましょう。



ピーマンのシャキシャキと春雨のツルツルとした食感が絶妙

今月の一品 ピーマンと春雨のスープ

Recipe レシピ

【材料】

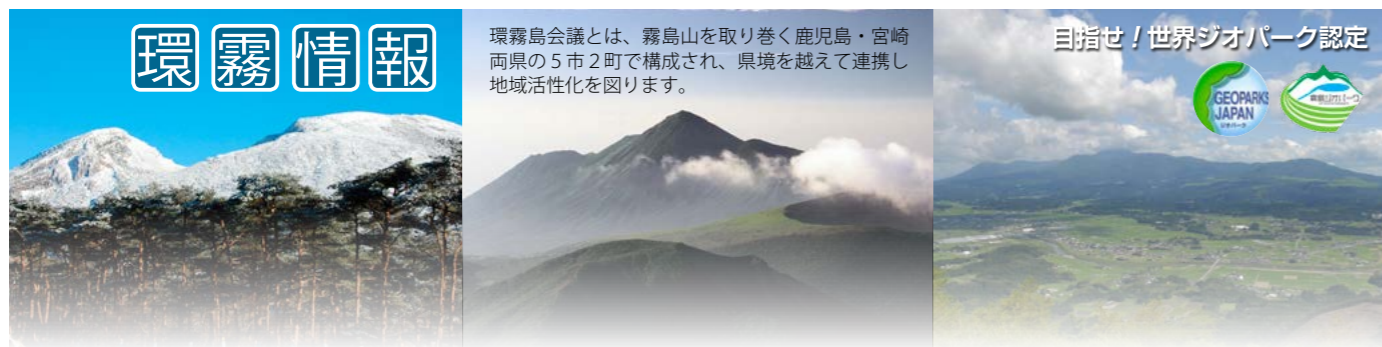
ピーマン 4個、緑豆春雨 50g、ニンジン 60g、水 400cc、チキンブイヨン 20g、薄口しょうゆ 適宜、鳥ミンチ 100g、いため油 適宜

【作り方】

- ①ピーマンは縦に千切りをする。ニンジンもピーマンと同じ大きさに千切りにする。
- ②鍋にいため油を入れ、鳥ミンチをいためる。
- ③ミンチがいたまったらニンジンを入れさらにいため、水、チキンブイヨンの順に入れ煮る。
- ④ニンジンが煮えたら薄口しょうゆで味を調え、緑豆春雨を乾燥のまま入れる。
- ⑤火を止める直前にピーマンを入れる。



【紹介者】ふるさと料理教室みなさん



環霧島 探訪

霧島山の魅力を堪能してもらおうと、環霧島会議がJR九州支店と協力して実現した一般募集のツアー環（ぐるつと）霧島周遊列車。日豊本線、吉都線、肥薩線を乗り換えなしで結ぶ総延長144km、約6時間の列車の旅です。今年度は4回の運行を企画し、毎回人気を高めています。12月9日、財部駅を発着駅とした第3回のツアーには88人が参加。停車駅では地域の皆さんによる特産品の振る舞いや即売会、列車内では特製の駅弁や観光案内、ビンゴゲームなどを楽しみました。霧島市の停車駅は2か所。単人駅では、霧島茶をPRしようとして国分中央高校の生徒が地元和菓子屋と共同開発した霧島ジオパークPR商品「霧島ちやろーる」と霧島茶で、もてなしました。リーダーの修行翔さんは、「人と話すことが好きで参加しました。『ちやろーる』を食べて霧島のファンになってもらいた



いです」とうれしそうに話しました。霧島温泉駅では霧島高校の生徒が関平鉱泉水でお出迎え、構内では霧島温泉地域振興会の皆さんが焼きシイタケや手作りの抹茶おはぎなどでもてなしました。同校3年の向井田登夢さんは「お客さまの笑顔が私を元気にしてくれました。この旅で霧島の魅力を肌で感じてほしい、また霧島に来てもらいたいです」と話してくれました。霧島山の大自然とともに「おもてなしの心」がたつぷりと詰まった列車の旅。一本のレールでつながった、おもてなし駅は、環霧島会議の新たな魅力として注目を集めています。

EVENTS OF KANKIRISHIMA

小林市



こばやし霧島連山絶景ウォーク

- 日時=2月23日(土)、24日(日) 午前7時~
 - 出発=小林駅ふれあい広場
 - 参加料=大人2000円、高校生1000円、中学生以下無料
 - その他=当日参加もできますが事前予約をお勧めします。詳しくは、実行委員会までお問い合わせください。
- ☎こばやし霧島連山絶景ウォーク実行委員会 ☎0984-23-1174

高原町



苗代田祭(ベブがハホ)

- 日時=2月18日(月) 午前11時~
 - 場所=狭野神社
 - 内容=本祭では、社殿前の庭を神田と見立て、田打ち、木牛による代かきをします。即興で現在の話題などを取り入れるなど、笑いあふれるユーモラスな祭りです。
- ☎高原町まちづくり推進課 ☎0984-42-2115

全席シートベルトの着用を



平成24年10月に実施されたシートベルト着用率の調査では、宮崎県の一般道路での着用率が

- 運転席 99.1% (全国 4位)
- 助手席 91.8% (全国 33位)
- 後部座席 19.2% (全国 46位)

でした。シートベルトの着用者の致死率は、非着用者の14分の1と低くなっています。車を運転、乗車するときは、後部座席を含むすべての座席でシートベルトの着用をお願いします。また、6歳未満の幼児も、チャイルドシートの着用が義務付けられています。

12月の交通事故発生状況	人身	15件	本年12月末	121件
	物件	37件	本年12月末	347件

ノロウイルスに注意



最近、ノロウイルスが大流行しています。ノロウイルスは感染力が非常に強く、一度感染してしまうと、周囲に感染が拡大してしまう恐れがあるため、予防が重要になります。以下のことに注意しましょう。

- 帰宅時、トイレの後、調理の前後、食事の前にしっかりとせっけんで手を洗いましょう。
- おう吐物や排泄物の処理をする際は、ビニール手袋やマスク等を使い触れないようにし、処理したものは密閉して捨てましょう。ふき取った後にもウイルスは残っています。次亜塩素酸ナトリウムで消毒しましょう。

12月の活動状況 [えびの消防署管内]	火災	2件	年計	11件
	救急	76件	年計	815件

自公連だより

※自公連…「自治公民館連絡協議会」の略称



そばを食べながら交流を楽しむ「ほぜ祭り」

区民全員参加の地域づくり

中浦自治公民館

中浦地区は真幸地区の東部に位置し、分区数5、人口295人、高齢化率44%の集落です。地区には、女性部、高齢者クラブ、育成会などがあり活発に活動しています。その中の女性部(さくらんぼ会)は、3年前、地区の活性化を進めることを目的に結成されました。女性部は、わが家で採れた新鮮な食材等を持ち寄り、愛情たっぷりの手づくりランチをつくる支えあい事業を行っています。

世代間交流では、そばの播種から刈り取りまでを行っています。そばの収穫後、「ほぜ祭り」と称して早朝から地区民総出でそば打ちを行い、でき上がったそばを食べながら、カラオケや踊りなどで和気あいあいと一日を過ごします。毎年4月には、伝統ある馬頭観音祭を行います。今年で105回目を迎えます。この祭の見どころは、50年ぶりに復活した馬踊りです。



中浦自治公民館館長 末原正毅さん

すが、昔ながらの競り市もなかなかこっけいでおもしろいです。馬頭観音が祀つてある中浦公園は、えびの市が一望できる絶景ポイントで、私たちの地区の自慢の1つです。よーかー眺めの中浦公園に一度おじゃったもんせ。

くらしのメモ



快適な生活を送るためには

11月12日、都城消費生活センターで「健康生活支援講習会」が行なわれました。講師には、日本赤十字社職員が招かれ、「健康な高齢者を目指して生活するにはどうしたらよいか」が話されました。日本人の平均寿命は世界のトップクラスですが健康寿命と平均寿命には10歳近くの差があります。健康寿命と平均寿命の差を小さくするには、くらしの中で自分に合った健康法を取り入れ、運動、

栄養、休養の調和を考えた快適な生活を送ることが大切です。高齢者は、加齢による体力、筋力、バランス機能の低下などによりちよつとした転倒などの骨折で寝たきりになる危険性があります。快適な生活を送るには、転倒しにくい環境を作る必要があります。それには、部屋の段差をなくし廊下やトイレに手すりや滑り止めを付けるなどの工夫が必要です。環境の整備だけでなく、自分の

足腰を良い状態に保っておくことも必要です。いすに座つての片足上げや足首の屈伸、軽くスクワットをするなど少しの時間、からだを動かすことで足腰を良い状態に保つことができます。身近な人とコミュニケーションをとる時には、肩や背中によく触れてみてください。不安や心身の疲労などから生じるストレスの緩和に役立ちます。スキンケアと笑顔は手軽に出来るリラクゼーションです。文：くらしのアドバイザー 小牟田由美

いきいき!健康



特定健診で自分の体の状態を知ろう

えびの市が実施している特定健診(国保加入者で40〜74歳の人が対象)の受診率は、毎年少しずつですが向上しています。平成23年度の受診率は24.5%でした。しかし、宮崎県内で見ると、えびの市は、25市町村中20位と、とても低い状況です。過去4か年の受診状況を見ても、毎年必ず受診している人(継続受診者)は、わずか4.1%となっています。特定健診は、自分の健康状態を

知ることができると、病気の早期発見につながる場合があります。特定健診を毎年受け続けていくことで、血液検査の結果から自分の体の変化を知ることができ改善していくこともできます。市では、特定健診受診者を対象に、毎月1回、市保健センターで健診結果説明会を開催しています。この説明会では、日ごろの生活習慣が血液検査の結果にどう影響しているかを知ることができ、

ちよつとした生活習慣の改善方法も知ることができます。ぜひ、ご利用ください。平成24年度の特定健診は、1月31日(木)まで受診できます。まだお済みでない人はぜひ、受診しましょう。平成25年4月から受診できる各種健診、がん検診等の申し込みが平成25年2月上旬から始まり、各世帯へ申込書を送付しますのでお忘れなく申し込みください。文：高妻保健師

あの時、あのころ

あの時のえびの市を広報で振り返る



30年ぶりに「日本大相撲えびの場所」

文化センター文化の杜で、12月8日、えびの市では30年ぶりといわれる「大相撲えびの場所」が行われました。

えびの場所には、横綱若乃花(2代)ら330人の力士が勢ぞろいしました。4横綱以下全力士が登場すると会場は歓声に包まれました。

えびの場所では、力強い力士の取組が行われたほか、相撲甚句が歌われました。訪れた約5000人は、えびの場所を楽しんでいました。



(昭和55年1月掲載)

BOOKS

図書館へ行こう

おすすめの一冊

◎イベント

おりがみでおひなさまをつくろう

- とき=2月24日(日)13:30~
- ところ=市民図書館学習室
- 参加料=無料
- ※事前に申し込みください。
- 対象=0歳~大人まで(先着20人)



古本リサイクル市

- とき=2月9日(土)、10日(日)9:00~16:00
- ところ=市民図書館
- 持ち込み期間=2月2日(土)~8日(金)
- ※不要になった本を図書館へお持ちください。

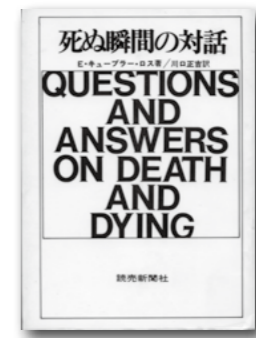
◎2月のスケジュール

1	金	移動図書館車巡回③	13:20~15:35
2	土	おはなし会 かたつみろかい	13:30~15:00
4	月	図書館休館日	
6	水	移動図書館車巡回①	13:20~15:35
9	土	おはなし会 古本リサイクル市(~10日まで)	9:45~11:00 9:00~16:00
12	火	図書館休館日	
13	水	移動図書館車巡回②	13:20~15:05
14	木	ブックスタート(1歳児に絵本配布)	
15	金	移動図書館車巡回③	13:20~15:35
16	土	おはなし会	9:45~11:00
18	月	図書館休館日	
20	水	移動図書館車巡回①	13:20~15:35
22	金	喫茶「ふら〜っと」営業	9:45~11:00
23	土	おはなし会	9:45~11:00
24	日	おりがみでおひなさまをつくろう	13:30~
25	月	図書館休館日	
26	火	ドリームカー	10:30~12:00
27	水	図書館休館日(館内整理日) 移動図書館車巡回②	13:20~15:05

※おはなし会:乳幼児10:30~11:00、4歳以上11:00~11:30

※移動図書館巡回

- ①尾八重野分校→飯野駅前地区体育館→飯野出張所
- ②岡元小学校→市立病院→さくら苑
- ③飯野地区公民館→警察署官舎→老人福祉センター



死め瞬間の対話

E・キューブラー・ロス/著 (読売新聞社)

ホスピス(末期患者のケア)を通して40年以上前に「死め瞬間」を出版した米国の精神科医が、800人を超えるがん患者の人たちとの会話を通して349の質問をしました。その答えが具体的に、的確に書かれています。

40年たった現在、どういう新しい答えがあるか知りたくなる1冊です。死は生きている限り皆に平等。経験しない事への不安は尽きません。



奇跡の一本松

なかだえり/著 (株式会社汐文社)

日本人の記憶にも残る、東日本大震災。津波によって大きな被害を受けた奇跡の一本松。

人々の暮らしを守るために、江戸時代に植樹が始まり、その後、4度の津波を乗り越えてきました。一本松だけが知っている津波の様子。そして、人間の手による傷ついた松の復活作業がわかります。

家読にはもってこいの絵本です。ぜひ、一読を。

【最近入ったおすすめ本】

- 「いのちの使い方」 日野原重明 著 小学館
- 「何者」 朝井リョウ 著 新潮社
- 「沈黙のひと」 小池真理子 著 文芸春秋社
- 「ママが生きた証」 小松武幸 著 講談社
- 「ありがとう3組」 乙武洋匡 著 講談社

市民図書館

☎35-0242 <http://www.e-tosho.com/ebino/index.html>

■開館時間■ 火曜日~土曜日/午前9時~午後7時 日曜日・祝日/午前9時~午後5時

■休館日■ 毎週月曜日(祝日法に定める休日と重なった場合はその翌日)

心の一首一句

あなたもつくってみませんか。

霧深く墨絵のごとき街並に
水銀灯のおぼろに浮かぶ

中島区 細山小夜子

新春の夜明けの空が東雲色(しのめいろ)に染まる頃(ころ)、えびの盆地の村里を抱(いだ)けるごとき霧が降る。その中に水銀灯が淡く灯(とも)っているのを見て作者はまるで絵画のように思えたのである。感覚描写と詩情のあふれた詠である。(評 竹下妙子)

名峰の風呼び覚ます懸大根

白鳥区 松山夢真

朝夕の寒暖の差は勿論の事。霧島風が一役買う。(自註)

炬燵に入って

岡松区 田中孝江

炬燵に入って膝を温めながらテーブルの上に蝉の抜け殻を眺めている念入りに作られた透明な鉛細工のようなミンミン蝉

いまでも泥をかぶったままのような小柄なニイニイ蝉

いずれの殻も鋭利な刃物で真つ二つに切られたような背中(の)の割れ目が痛痛しい割れ目から蝉達の短い夏がよみがえる

あのせわしない性急な鳴きかたは誇らかにわが世を謳歌していたのかノン行先短しと切ない嘆き節だったのかノン鳴き切るために懸命に鳴いていた

その他に何があろう
ミンミンイイイイ ニイニイイイイイ
抜け殻から蝉の真の音が聞こえてくる

宮崎ねりんピック2013選手募集

今年5月に、スポーツ・文化種目を通じ、高齢者の生きがいや健康づくり、地域間の交流などを図ることを目的とした「宮崎ねりんピック2013」が開催されます。

市では、下記のとおり26種目のスポーツ・文化種目の参加者を募集します。

競技種目の一部には、全国健康福祉祭の県選手選考会を兼ねたものもあります。市民の皆さんの皆さんの参加をお待ちしています。

【開催日】5月19日(日)、20日(月)

【開催地】宮崎市他

【総合開会式会場】宮崎県総合運動公園運動広場C・D

【競技種目】ラージボール卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク、ターゲット・バードゴルフ、弓道、剣道、なぎなた、インディアカ、グラウンドゴルフ、太極拳、バウンドテニス、四半的弓道、ミニバレーボール、ソフトバレーボール、ミニテニス、ボウリング、ゴルフ、ラグビーフットボール、サッカー、パークゴルフ、水泳、囲碁、将棋
全26種目(スポーツ24種目、文化2種目)

【申込期限】2月1日(金)～2月28日(木)

【対象】60歳以上の宮崎県民(昭和29年4月1日以前に生まれた人)

【参加費】500円(参加記念品代、傷害保険料等)

【申込方法】市役所本庁：長寿介護課・高齢者係または、



マスコットキャラクターの元氣ちゃん

両出張所に申し込みください。

【申し込み・お問い合わせ先】

市長寿介護課高齢者係

☎35-1111(内線268)

南九州最大の京町二日市

南九州最大の買い物市を誇る毎年恒例の京町二日市が開催されます。

【開催日】2月2日(土)～3日(日)

【歩行者天国時間】

2月2日(土)午前9時～午後6時

2月3日(日)午前9時～午後5時

【会場】京町温泉駅前通周辺

※当日は道路の渋滞が予想されますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

☎市観光商工課・企業誘致・商工振興室

☎35-1111(内線333)

にせ税理士にご注意

所得税や消費税・地方消費税の確定申告の時期になりました。

決算書や申告書などの税務書類の作成などを依頼する場合は、その人が正規の税理士であるか、よく確認してから依頼してください。

税理士の資格のない人(いわゆる「にせ税理士」)が、税務代理や税務書類の作成、税務相談をすることは、税理士法で固く禁じられています。

また、「にせ税理士」は、法律に違反するだけでなく、税務署からの問い合わせや調査を受けることになって

も、あなたに代わって答えることができないなど、結果的にあなた自身が大きな被害を受けることになります。「にせ税理士」には、十分にご注意ください。

詳しいことは、最寄りの税務署にお尋ねください。

☎小林税務署

☎23-3126(自動音声案内)

無料公正証書遺言等相談

都城公証人役場では、相続・遺言・任意後見契約・尊厳死宣言・賃貸借契約・金銭貸借契約・離婚給付契約等の公正証書作成に関する無料相談を実施します。

●開催日＝2月18日(月)～20日(水)

●時間＝午前9時～午後7時(昼休みを除く)

●場所＝都城公証人役場

〒885-0025 都城市前田町15街区10の1号(国道10号線沿いー宮崎進行方向左側)

※相談を希望する場合には、プライバシー確保のため事前予約が必要です。

【申し込み・お問い合わせ先】

都城公証人役場

☎0986-22-1804

FAX0986-57-0770

国の教育ローンのご案内

国の教育ローンは、高校、短大、専修学校、各種学校や外国の高校、大学等に入学・在学する子どもをお持ちの家庭を対象とした公的な融資制度です。

【融資額】子ども1人につき300万円以内

【利率】2.45%(母子家庭は年2.05%)

※利率は、平成24年12月12日現在
ご利用、申し込みに関する相談は、教育ローンコールセンターまでお問い合わせください。

☎教育ローンコールセンター

☎0570-008656(ナビダイヤル)

ナビダイヤルが利用できない場合は

☎03-5321-8656

放送大学で学んでみませんか 平成25年度第1学期生募集

放送大学はテレビなどの放送により授業を行う通信制の大学です。働きながら学んで大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、さまざまな目的で、幅広い世代の人が学んでいます。

ただいま平成25年度4月入学生を募集しています。詳しい資料を無料で送付しますので、お気軽にお問い合わせください。

【募集学生の種類】

〔教養学部〕

・科目履修生(6か月在学し、希望する科目を履修)

・選科履修生(1年間在学し、希望する科目を履修)

・全科履修生(4年以上在学し、卒業を目指す)

〔大学院〕

・修士科目生(6か月在学し、希望する科目を履修)

・修士選科生(1年間在学し、希望する科目を履修)

【出願期間】

2月28日(木)まで

【資料請求・お問い合わせ先】

放送大学宮崎学習センター

〒883-8510 日向市本町11-11

☎0982-53-1893

放送大学ホームページ <http://www.ouj.ac.jp>



◎今月の表紙

1月5日、えびの市文化センターで行われた「平成25年成人式」の参加者です。会場では、旧友を見つけては歓声を上げたり抱き合ったり、記念撮影をする新成人の笑顔であふれていました。

今月の納税

市県民税 第4期、国民健康保険税 第7期
後期高齢者医療保険料 第7期

1月31日(木)までに納めましょう。

人口 20,774人(-19人)

男性 / 9,721人(-7人) 女性 / 11,053人(-12人)

転入 / 53人 転出 / 43人

出生 / 7人 死亡 / 36人

世帯数 9,034世帯(-19世帯)

(平成25年1月1日現在)

明 けましておめでとうございます。今年も広報えびのともどもよろしくお願いたします。広報の担当になり、3回目の新年を迎えました。気持ちを新たに充実した広報紙を目指し、この一年がんばっていきたく思いますので、どうぞよろしくお願いたします(川野)

Editor's



写真：栗下輪太鼓踊

太鼓踊の起源

えびの市内には多数の太鼓踊が継承されています。主なものには、大太鼓踊や輪太鼓踊、三段打分太鼓踊などがあります。これらの踊りは、いつごろ始まったのでしょうか。

太鼓踊の起源には、二つの説があります。

一つは、戦場で兵の士気を鼓舞するために始まったという説です。朝鮮の役に出兵した島津義弘の軍勢が、泗川の戦い（一五九八年）で、一万の兵で二〇万の明の大軍と対戦しました。島津軍は鉦や太鼓を打ち鳴らし、矢旗の中に刀と槍を隠し敵陣に攻め入り、大勝したと伝えられています。この勇壮な様子を舞踊化したものが太鼓踊の始まりというものです。

もう一つは、鹿児島島の始良で始まったという説です。いまから四百年前の慶長十一年（一六〇六年）、島津義弘は平松城（始良）にいました。当時、江戸でコレラが流行し、駿河の念仏踊が江戸市中を練り歩いたところ、猛威を振るっていたコレラが終息しました。

義弘はこれを聞き、家臣の中から二人を派遣し、念仏踊を習得させました。その念仏踊に改良を加え、振り付けをして太鼓踊を完成させたというものです。この太鼓踊は、朝鮮の役の凱旋祝いとして義弘の前で踊られたということです。その後、踊りは近隣の加治木や栗野などに伝えられていきました。

ところで、栗野の太鼓踊では、歌詞の中に「高麗国」や「西田殿と町田殿」、「十四の城を取り構え」、「諸国大名船揃え」といった言葉があります。同じ言葉が、栗下の輪太鼓踊の歌詞にもあり、栗野から伝承されたと考えられます。また、えびの市内の太鼓踊の中には、江戸時代の終わりのころから明治の初めにかけて、西目地方（加世田、川辺など）から市内に移住した人たちによって伝授されたものもあります。

市内には、太鼓踊の他にも色々な伝統芸能が残されています。各地区で継承されている踊りを未永く守り伝えていきたいものです。

（文／えびの市歴史民俗資料館）

「人」と「まち」をつなぐ

広報 **えびの**

平成25年1月20日発行